

# エコライフ・フェア 2006 開催の基本的な方針

エコライフ・フェア 2006 実行委員会

## 1. エコライフ・フェアとは

エコライフ・フェアは、毎年6月の環境月間に全国各地で展開する様々な行事の中の主たる行事の一つとして1990年以来、環境省（環境庁）、関係地方公共団体、関連法人、業界団体、企業及びNGOが連携し実施してきました。ここ数年は、環境の日（6月5日）前後の土曜日、日曜日の2日間、東京・渋谷の代々木公園ケヤキ並木を会場に開催しています。

国民一人ひとりにエコロジカルなライフスタイルを広めていくことを目的として、環境問題の現状と将来を誰にでもわかりやすい形で紹介することにより、環境保全の大切さを理解してもらうとともに、環境保全活動への積極的な参加を促すことを趣旨として展開してきました。

## 2. エコライフ・フェア2006の開催に当たって

今回のエコライフ・フェアは、以下のような考え方を共有しつつ行います。

### 基本コンセプト

体感・体験を通じて、

- ・脱温暖化社会
- ・循環型社会
- ・自然保護

について、「気づき」から「行動」へ導く

### 対象

- ・一定の関心を持ち、行動もする層  
関心を横に広げることで、さらなる行動を促す。
- ・潜在的な関心はあるが、行動に移していない層  
気づきを与えることで、行動へ一歩踏み出すよう促す。

## 方法

- ・楽しいイベントへの参加、情報発信
- ・NGO、企業、メディア、地方公共団体、国という様々な参加者による協働

以上を踏まえて、参加者が創意工夫し、柔軟に参加できるフェアとします。

## 3. 開催概要

タイトル	エコライフ・フェア2006
開催期日	平成18年6月3日(土)、4日(日)
会場	代々木公園 ケヤキ並木(NHKホール前)
主催	エコライフ・フェア2006実行委員会 (環境省、東京都、渋谷区、(独)環境再生保全機構、(財)経済広報センター、(財)水と緑の惑星保全機構、(財)日本環境協会、(財)地球環境財団、(財)環境情報普及センター、(財)自然環境研究センター、渋谷区商店会連合会、日本放送協会、共同通信社、全国地方新聞社連合会、中日新聞東京本社、NHKプロモーション)
後援(予定)	文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、 (社)日本新聞協会、(社)日本民間放送連盟
協力(予定)	東京都教育委員会、渋谷区教育委員会、 日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、 日本生活協同組合連合会、東京都生活協同組合連合会、 東京地下鉄(株)、東京急行電鉄(株)、京王電鉄(株) グリーン購入ネットワーク
事務局	(財)水と緑の惑星保全機構
予想入場者数	5万人
入場料	無料

## 4 . 内容

### ( 1 ) 会場の構成

企業、NGO等の出展と、主催者企画（出展及びステージ）からなります。内容に応じて、一定のゾーニング（昨年度同様に温暖化防止ゾーンを予定）を行います。出展ブースが具体化してきた段階で、柔軟に組み立てます。

なお、環境にやさしい商品やエコライフ推進を訴えるグッズ等の展示・販売も行うことを可能とします。

また、フェア全体として、3R（リデュース、リユース、リサイクル）及び省エネを図り、環境に配慮した取組を行います。

### ( 2 ) 構想しているコーナー・イベント

#### チーム・マイナス6% - みんなで止めよう温暖化 - コーナー

平成17年2月16日発効された京都議定書で、世界に約束した日本の目標である温室効果ガス排出量を1990年比6%削減を実現するための国民的プロジェクトである「チーム・マイナス6%」が提案する6つのアクションなどをわかりやすく紹介し、チーム・マイナス6%への参加を呼びかけます。

#### 我が家の環境大臣コーナー

家庭生活において環境に配慮した取組を行うことを宣言する家庭及び代表者を募集している「我が家の環境大臣」事業の紹介・登録の呼びかけ、環境大臣賞受賞家庭・団体の取組紹介、参加型プログラムの実践等を行い、楽しみながらエコライフに取り組むきっかけづくりの場を提供します。

#### 3Rコーナー

特に家庭における3Rを推進するため、「3Rはひとりひとりの行動から」をわかりやすく説明するコーナーを設けるとともに、ご当地ふるしき大集合、いろいろなリサイクル製品や面白エコグッズの紹介、地方公共団体の普及啓発キットの展示といった「見て、触って面白く」3Rがわかる企画を検討します。

## 自然保護コーナー

今回の基本コンセプトの1つに自然保護があります。そこで、今年はエコツーリズムだけでなく、自然環境局の業務に関連する取組を広く紹介し、自然保護について理解を深めてもらうコーナーを設けます。エコツーリズム、世界自然遺産、ラムサール登録湿地、外来生物など、注目を集めている取組についてのコーナーを設け、情報を提供します。

## こどもホタレンジャーコーナー

汚れてしまった水をきれいにしたり、ホタルのこどもが楽しくらせる川や湖を守るホタルの味方、それが子どもホタレンジャーです。全国の優秀なホタレンジャーの活動を紹介し、実際に、水質調査等を行うことで、ホタルや水環境に関する知識を深め、来場者に水環境について考えてもらう機会をつくります。

## エコモール

平成17年2月16日の京都議定書の発効を受け、民生部門の環境対策がますます重要視されています。そのためには、省エネ製品の普及や環境負荷の低い消費行動が必須となります。日々の暮らしをエコに変えるきっかけづくりとして、衣食住のあらゆる生活シーンで使用できる省エネ製品などを紹介するコーナーを予定しています。また、実際に来場者が省エネ製品を手に取り、購入してもらうコーナーも展開します。

## ステージ

一般の来場者にわかりやすくエコライフを伝えるために、著名人のエコライフトークや音楽演奏などを行い、より身近に環境問題を考えるきっかけづくりの場や、より関心のある層向けに、理解を深めるシンポジウム・セミナー等を提供します。

## 企業・団体出展エリア

エコライフの推進に賛同し、取り組みを行っていただいている企業・団体が出展するエリア。それぞれの企業・団体の創意工夫により、多様な出展・イベントが実施され、参加者にさまざまな気づき・行動への意欲を得てもらうことが出来ることを期待しています。

## 飲食物の販売エリア

ご家族づれの方々にも楽しんでいただけるよう、飲食物の販売コーナーを設けます。素材からエコロジーの意識を持ってもらうオーガニック系の素材を中心とした飲食の提供を行う予定です。また、洗浄カーを準備し、リユース食器、リユースカップを使用し、来場者が洗浄、返却するディッシュ・リユースのシステムの実践など、エコライフ・フェアの名にふさわしいものになりたいと考えています。

## NGOエリア

生活・ライフスタイルに関わる課題に取り組んでいるNGOに出展いただくエリアです。NGOの視点から展示、企画、ワークショップを展開していただき、参加者に多様な視点からの気づき、行動への意欲を持っていただくことを期待しています。

### (3) 出展募集概要

#### テント面積及び料金

区分	面積	小間数	料金
企業、業界団体等	25.9m <sup>2</sup> 3.6m(奥行き)×7.2m (間口)×2.0m(高さ)	42小間	315,000円
NGO (NGOエリア)	19.4m <sup>2</sup> 3.6m(奥行き)×5.4m (間口)×1.8m(高さ)	15小間	10,500円 (支給付属品負担料除く)

- ・NGOエリアのテントには、床、電気の設備がありません。必要な場合は応相談

#### 留意事項

- ・出展者のニーズに対応して、テントを連結することも可能です。
- ・複数の出展者がひとつのテントを使用することも可能です。

#### 出展申込

企業、業界団体等：受付開始後から設置予定テント数に達した時点で締め切ります。

NGO：申し込み多数の場合、抽選その他により調整させていただきます。